

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議(第15回)

議事概要

令和7年12月26日(金) 16:00~18:00

於:中央合同庁舎2号館1階共用会議室3A・3B

- 事業費の精査の前提として、工事の進捗状況について確認を行った。本年3月に本有識者会議の報告書で示したとおり、蓋然性が高いリスクや採用可能な工程短縮策を前提とした場合、完成・開業は概ね2038年度末頃の見通しであることに変更がないことを確認した。
- また、事業費については、令和4年の本有識者会議の報告書において、「現在、見通すことは困難であるものの、今後発生の可能性があり、状況によっては事業費等に影響を及ぼし得るリスク」として、想定以上の大幅な工事資材価格等の上昇、羊蹄トンネルにおける新たな堅固で大きな岩塊の出現等の要因を指摘しており、このリスク要因の発現状況について確認を行った。
- その上で、鉄道・運輸機構における事業費の精査の考え方について報告を受けた。その結果、今回、鉄道・運輸機構において事業費が増加すると判断した要因の多くは、令和4年の報告書で指摘していたリスクに関するものであることを確認した。
- 次回の会議においては、事業費に影響を与えるリスクについて議論を行いながら事業費の精査を進めるとともに、開業時期に影響を与えない範囲で事業費を縮減する方策について検討を行う。

以上